

## 第5学年A組 家庭科学習指導案

### 1 題材 「めざせ！買い物名人」

### 2 指導観

- 激しく社会が変化し、それと同時に家庭の生活も変わってきた。環境に配慮することが必要なサイクルの時代にもなり、物に対する私たちの価値観も多様化してきている。児童のまわりにも、テレビや雑誌などの情報があふれ、好きな店で、多種多様なものをいつでも購入することができるようになってきた。これからの社会の中で生きていく児童が確かな目を持ち、自分にとって必要なものは何かを判断する力を十分に育てることが重要である。つまり、児童一人一人が家庭生活の中で、適切な意思決定をする力が現代社会の中で必要になってきているといえる。

本題材では、身の回りにある物の使い方を見直し、計画的に生活することの大切さが分かるようにすることや物を選んだり購入したりするときに、自分の生活に必要なかどうかを自分の目で確かめ決定できるようにすることをねらいとしている。学習内容としては、物を大切に扱うことや金銭の有効な使い方、身の回りの物の選び方や買い方などがある。このような学習を通して、身の回りの物や金銭の計画的な使い方を考え、適切に買い物ができるようにすることをめざしている。このことは、消費者として主体的に日常生活で実践できるようにするための素地を育て、家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる上で意義がある。

- 児童は、5年生1学期に調理実習で使う材料などを購入する経験がある。

事前調査を行ったところ、服を購入する際、「サイズ」を気にする児童が95%、「値段」を気にする児童が85%、「好み」を気にする児童が80%と多い。お菓子では「おいしさ」を気にする児童が95%、「値段」を気にする児童が81%と多い。しかし、服を購入する際、「布の種類」を気にする児童が33%、お菓子では、「表示やマーク」を気にする児童が24%と少なかった。また、これからの生活の中で大切にしたいこととして、「お金の使い方」を大切にしたい児童が93%であった。このことから、児童は、日常生活の中で物を購入する際、「サイズ」「値段」「好み」「おいしさ」など支払いの場や購入直後の自分に直接関わることなどは重視しているが、「布の種類」や「表示やマーク」などを見ずに購入していること、つまり、購入した後、その商品が自分の生活に合っているかまでを考えて商品を購入していないことが分かる。また、「お金の使い方」を大切にしたいと思う児童が多く、金銭の使い方についての関心の高さが伺える。

- 指導にあたっては、買い物をするときに必要な情報を集めたり、買い物の模擬体験や交流を行ったりすることで、適切な意思決定力をもった児童を育成していきたい。適切な意思決定力とは、生活の質の維持と向上を目指し、自らの価値観に基づいて判断する力である。児童の価値観が、その場の金銭的な損得だけでなく、購入後の自分や家族の生活や環境など広い視野まで見据えたものであるようにしたい。

そこでまず、自分達の夏休みの買い物体験（地域の夏祭りや地域の店）などを振り返らせ、買い物の実態をつかませる。ここでは、商品を選んだわけや失敗したことなどを交流させ、課題をつかませる。また、家庭で得ている収入と家庭での支出について考え、お金の大切さについて実感させる。次に、5-A文具店を開くことを伝え、買い物をする際に必要な情報を集めさせる。その際、品質表示・マーク・支払い方法・店に行かずに買う方法・再利用やごみの始末・貯蓄に関する情報の集め方などを取り上げる。さらに、集めた情報を発表し、「ぼく・わたしの買い物めあて」を作成させ、これを5-A文具店での買い物模擬体験に役立たせたい。ここでは、実物の商品と写真を準備し、実際の生活で役に立つ実践的な買い物模擬体験にし、自分の目で確かめ購入させる。最後に、これまでの学習を振り返らせ、環境に配慮しながら、物を大切に扱うことや金銭の有効な使い方について学習させる。ここでは、GT（金融広報アドバイザー）を呼び、話を聞いたりする中で児童の中に、新しい価値観が形成され、家庭実践の意思決定場面に生かされるようにしていきたい。

### 3 目標

- 買い物の仕方や金銭の使い方に関心をもち、買い物をしようとする。
- 自分に必要なものを考え、意思決定をし、購入の仕方を工夫することができる。
- 購入しようとする物の品質や価格などを調べて、目的に合った買い物をすることができる。
- 物や金銭の使い方や身の回りの物の選び方や買い方を説明することができる。

### 4 計画（全6時間）

第一次	身の回りの金銭の使われ方について振り返る	-----	1
	・選んだ商品や失敗したこと		
	・家庭で得ている収入と家庭での支出		
	・買い物をするときに必要な情報を集める計画		
第二次	買い物をする時、必要な情報を集める	-----	2
	・家の人への聞き取り		
	・インターネットや本などによる情報の収集		
第三次	商品の選び方や買い方を考える	-----	2
1	買い物をする時に必要な情報を交流する	-----	(1)
	・品質表示・マーク		
	・支払い方法		
	・店に行かずに買う方法		
	・再利用やごみの始末		
	・貯蓄		
	・地域の店		
2	買い物模擬体験をする	-----	(1) 本時
	・購入の仕方の工夫（値段・使いやすさ・丈夫さなど）		
第四次	これからの消費生活について考える	-----	1
	・物を大切に扱うこと（環境に配慮した生活）や金銭の有効な使い方		
	・買い物の計画		
	・買い物体験	-----	課外

5 本時 平成18年9月20日（水） 5校時 計画 第三次2/2 5年A組教室にて

#### (1) 本時の指導観

前時までに児童は、5-A文具店で買い物をすることを前提に、買い物に必要な情報を集め、交流したりして、物の選び方や買い方について学習してきている。

そこで本時では、買い物の模擬体験を通して、意思決定をし、商品の品質や価格を自分の目で確かめ、購入の仕方を工夫することをねらいとする。そのためにまず、前時の学習を振り返り、めあてを確認させる。ここでは、買い物をする際の基礎的な事項を理解しているか確認する。次に、買い物の模擬体験をさせる。ここでは、実際に品物を並べ、写真を掲載した「グッズカード」を用意しておき、店頭と同じような情報が得られるようにする。与えられたお金の中で品物を選び、選んだ理由も書かせる。さらに、その品物や選んだ理由をグループやクラス全体で交流させる。全体交流のときは、プロジェクターを準備し、児童の購入の仕方について全体で分かりやすいように提示する。最後に本時のまとめを行い、次時の予告を知らせる。

(2) 主眼

○買い物の模擬体験を通して、商品の品質や価格を自分の目で確かめ、購入の仕方を工夫することができる。

- (3) 準備 ①めあて ②学習プリント ③カード ④品物（ノート、鉛筆、消しゴム） ⑤品物のグッズカード  
（ノート、鉛筆、消しゴム） ⑥プロジェクター ⑦振り返りシート

(4) 過程

学習活動・内容	資料・教具	留意点	形態	配時
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>5年A組文具店での買い物を通して、商品の購入の仕方について考えよう。</p> </div>	①②	○買い物名人めあてや今までの学習を想起させ、買い物をする際に必要な基礎的な事項を振り返り、確認する。	一斉	5
<p>2 買い物の模擬体験をする。</p> <p>(1)商品の品質や価格を自分の目で確かめ、購入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・400円以内</li> <li>・グッズカードの見方</li> </ul> <p>(2)満足度チャートと選んだ理由を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・値段</li> <li>・使いやすさ</li> <li>・丈夫さ</li> </ul>	③④⑤	<p>○実際の生活で買い物ができるように、模擬体験の手順をカードを使い、確認させる。</p> <p>○何を選んだか分かるように、実物の商品とグッズカードを準備しておく。</p> <p>○学習プリントに選んだ商品を貼らせる。</p> <p>○満足度が目で見えて分かるようにレーダーチャートにまとめさせる。</p>	個	15
<p>3 自分が書いた学習プリントをもとに交流する。</p> <p>(1)グループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだものやその理由</li> </ul> <p>(2)全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入の仕方の工夫</li> </ul>	⑥	○席をグループにし、満足度チャートをもとに選んだものやその理由について考えさせる。	小集団	20
<p>4 本時のまとめをし、次時の予告を聞く。</p>	⑦	<p>○プロジェクターを準備し、発表している児童が何をを選び、どんな理由であるか分かりやすく提示する。</p> <p>◇商品の品質や価格を自分の目で確かめ、購入の仕方を工夫することができたか。</p> <p>&lt;創：学習プリント分析、振り返りシート分析&gt;</p> <p>○次時は、GT（金融広報アドバイザー）の話聞き、「これからの消費生活」について学習することを伝える。</p>	一斉	5

資料-19 第5学年「めざせ！買い物名人」全体計画と要素との関連表（全6時間）

関心:関心・意欲・態度 創:創意工夫 技:生活の技能 知:知識・理解 (a～mについては、P3の資料-3を参照)

段階	配時	学習活動・内容	評価規準 (評価方法)【要素】	具体的評価規準	
				十分満足できる (A)	おおむね満足できる(B)
気付く	1	1 地域の夏祭りや店の写真を見せ、夏休みの買物の経験を振り返る。 ・商品 ・失敗したこと など	関:自分の買物の体験を振り返り、実態をつかもうとしている。 〈活動チェック, 学習プリント分析〉  【a, h】	・地域の夏祭りなど夏休みの自分の買物体験を振り返り、買った商品や失敗したことなどを想起し、自分のこれまでの買い物の経験を振り返ろうとしている。	
		2 家庭で得ている収入と家庭での支出について考える。 ・労働→収入 ・生活→支出	知:家庭での収入や支出について分かる。 〈学習プリント分析〉 【b, c】	・家庭で得ている収入と支出について考え、労働による収入が家族の生活を支えていることに気づく。	・家庭で得ている収入と支出について考え、まとめている。
		3 5-A文具店で上手な買物をするための計画を立てる。			
見通す	2	4 買物をするときに必要な情報を集め、まとめる。 ・家の人への聞き取り ・インターネットや本などによる情報の収集	技・知:課題別に分かれ、必要な情報を調べ、まとめる。 〈活動チェック, 学習プリント分析〉  【b,d, e, i,k,l】	・課題別に分かれ、家の人に聞いたり、インターネットや本などで調べたり、まとめることができる。	・課題別に分かれ、必要な情報を集め、まとめることができる。
さぐる	1	5 買物をするときに必要な情報を交流する。 ・品質表示, マーク ・支払い方法 ・店に行かずに買う方法 ・再利用やごみの始末 ・環境に配慮した生活 ・地域の店	関:自分が調べたことを発表しようとする。〈活動チェック, 振り返りシート分析〉 【a,d,i,j, k,l】 創:5-A文具店で買物をするときに必要なことを「ぼく・わたしの買物めあて」に選び、まとめる。 〈買物めあての分析〉  【b,c,d,i,j, k, l, m】	・買物をするときに必要な情報を分かりやすく発表しようとしている。	・買物名人めあてを3つ書くことができる。
		6 5-A文具店で買物の模擬体験をし、買物の仕方について交流する。 ・購入の仕方の工夫(値段, 使いやすさ, 丈夫さなど)	創:商品の品質や価格を自分の目で確かめ、購入の仕方を工夫することができる。 〈学習プリント, 振り返りシート分析〉  【b,c,d, h,i,j, k,l, m】	・商品の品質や価格を自分の目で確かめ、購入し、値段・使いやすさ・丈夫さの満足度を考え、選んだ理由を書くことができる。	・商品の品質や価格を自分の目で確かめ、購入し、選んだ理由を書くことができる。
まとめる  生かす	1	7 これまでの学習を振り返り、物や金銭の使い方について知る。  ・身のまわりの物の選び方や買い方(環境に配慮した生活) ・物を大切に扱うこと ・金銭の有効な使い方	知:GT(金融広報アドバイザー)の話聞き、物を大切に扱うことや金銭の有効な使い方が分かる。 〈学習プリント, 振り返りシート分析〉  【b, c, d, g,h, j, l, 】	・身のまわりの物の選び方や買い方についてGTの話参考にしながら、自分の考えをまとめている。	・身のまわりの物の選び方や買い方についてこれまでの学習をもとにまとめている。
		8 買物の計画を立てる。 ・何が必要か ・いつ, どこで ・買うときのめあて(課外) 自分で買物をする。	創:自分の生活に必要な物を考え、めあてをもち、自分で工夫し、計画を立てる。 〈買物体験カード分析〉  【a,b,c,d,g,h,i,j,k,l,m】 関:学習したことを生かして買物しようとしている。 〈買物体験カード分析〉  【a,i, j, m】	・自分に必要な物を選び、いつ, どこで買うか計画している。	・自分に必要な物を選び、買物の計画をしている。